

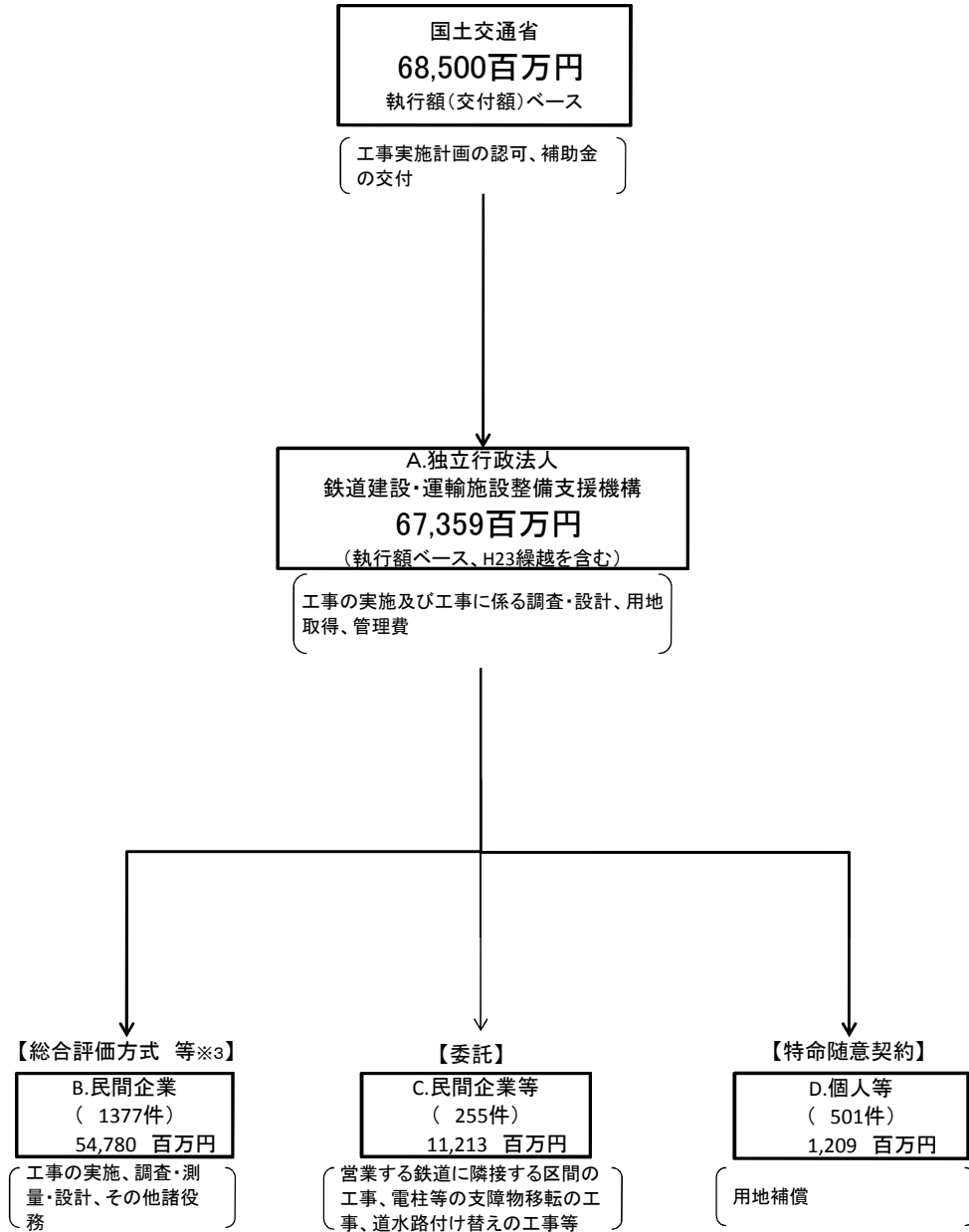
平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	整備新幹線整備事業		担当部局庁	鉄道局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H4～		担当課室	幹線鉄道課、施設課		幹線鉄道課長 石井 昌平 施設課長 江口 秀二		
会計区分	一般会計		政策・施策名	7 都市再生・地域再生の推進 25 整備新幹線の整備を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	全国新幹線鉄道整備法第13条		関係する計画、通知等	国土形成計画(全国計画) (平成20年7月4閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の基幹的な高速輸送体系を形成するため、地域間の移動時間を大幅に短縮させて関係する地域社会の振興や経済活性化に大きな効果をもたらすとともに、我が国の多重的な幹線交通体系の確保に不可欠であり、かつ環境にも優しい公共交通機関である整備新幹線を着実に整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国新幹線鉄道整備法に基づき、国土交通大臣から建設主体として指名された(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設を行う以下の路線について、事業費の一部を助成する。 ①北海道新幹線(新函館～札幌)〔新青森・新函館間の開業から概ね20年後完成予定〕 ②北海道新幹線(新青森～新函館)〔平成27年度末完成予定〕 ③北陸新幹線(長野～金沢(白山総合車両基地))〔平成26年度末完成予定〕 ④北陸新幹線(金沢～敦賀)〔長野・金沢間の開業から概ね10年後完成予定〕 ⑤九州新幹線(武雄温泉～長崎)〔諫早～長崎の着工から概ね10年後完成予定〕 ※負担割合 国:2/3、地方公共団体:1/3							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	70,600	70,600	70,600	70,600	82,249	
		繰越し等	13,000	-	-	-	-	
		計	18,240	4,417	▲2,100	26,018	-	
	執行額	101,840	75,017	68,500	96,618	82,249		
	執行率(%)	101,840	75,017	68,500	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(28年度)	
	鉄道整備等により5大都市からの鉄道利用所要時間が新たに3時間以内となる地域の人口数		成果実績	万人	-	-	-	140
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	建設を行っている線区数		活動実績(当初見込み)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	- ()	
単位当たりコスト	13,700百万円(執行額/建設線区数)		算出根拠	H24執行額 : 68,500百万円 H24建設線区数 : 5線区				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	北海道新幹線(新函館～札幌)	3,399	82,249	整備新幹線の着実な整備を推進するため 「新しい日本のための優先課題推進枠」11,649				
	北海道新幹線(新青森～新函館)	51,917						
	北陸新幹線(長野～金沢(白山総合車両基地))	445						
	北陸新幹線(金沢～敦賀)	2,000						
	九州新幹線(武雄温泉～長崎)	12,839						
	計	70,600	82,249					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・整備新幹線は、我が国の基幹的な高速輸送体系を形成し、地域間の移動時間を大幅に短縮させて関係する地域社会の振興や経済活性化に大きな効果をもたらすとともに、我が国の多重的な幹線交通体系の確保に不可欠であり、かつ環境にも優しい公共交通機関であるという点で、優先度が高い事業であり、また国が実施すべき事業であると思われる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・整備新幹線全線区において入札・契約手続きを適切に執行するとともに設計・施工方法等の見直しに努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・整備新幹線の各線区において、着実に整備を進めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	・類似の事業は特段ない。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>北陸新幹線(長野～金沢[白山総合車両基地])及び北海道新幹線(新青森～新函館)については、それぞれ、平成26年度末及び平成27年度末の予定どおりの完成・開業を目指して着実に整備を進めているところ。</p> <p>また、未着工区間であった北海道新幹線(新函館～札幌)、北陸新幹線(金沢～敦賀)及び九州新幹線(武雄温泉～長崎)については、平成24年6月29日に工事実施計画の認可を行ったところ。</p> <p>事業の執行にあたっては、機構の入札・契約手続きの改善により整備新幹線の工事費の縮減に努めていくこととしている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	整備新幹線については、政府・与党における検討を踏まえて着工されているものであるが、事業の執行にあたっては、引き続き工事費縮減に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	事業の執行にあたっては、一般競争契約を基本としており、品質確保の観点から総合評価方式も導入しているとともに、新技術の活用及び技術開発により、工事費縮減に取り組んでいる。 また、国土交通省に入札・契約結果の報告を求めており、新規着工区間も含め引き続き入札・契約手続きの適切な執行を指導し、工事費の縮減に努めていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0273	平成23年	0250	平成24年	0259

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:百万円)



※1 H23年度予算の繰越を含み、H24年度予算の繰越は含まない。

※2 補助金の交付は概算払いにより行っているため、執行額と交付額で差額が生じる。

※3 発注方式は下記の通り。

1. 総合評価方式…技術評価と価格により落札者を特定するもの。
2. プロポーザル方式…技術提案により落札者を特定するもの。
3. 一般競争入札…価格競争により落札者を特定するもの。
4. 少額随意契約…少額(工事250万、役務100万以下)のもの。
5. 随意契約…トンネル工事などで、発注規模から1つの工事を複数の別件工事としたものの、同一企業が受注することで安価になると判断されるもの等。

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
本工事費	工事の実施、調査・測量・設計、その他諸役務	65,994			
用地費	用地取得に係る補償費等	1,209			
管理費	人件費、旅費、事務経費等 (*貸付料充当)	157			
計		67,359	計		0
B.代表例(日本電設工業株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	北陸新幹線に係る工事の実施	171			
	北陸新幹線に係る工事の実施	158			
	北陸新幹線に係る工事の実施	140			
	北陸新幹線に係る工事の実施	130			
	北陸新幹線に係る工事の実施	125			
	北陸新幹線に係る工事の実施	103			
	北海道新幹線に係る工事の実施	110			
	その他(北海道、北陸新幹線に係る工事の実施)	586			
計		1,523	計		0
C.代表例(北海道旅客鉄道株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	北海道新幹線に係る工事の委託	1,816			
	北海道新幹線に係る工事の委託	1,463			
	北海道新幹線に係る工事の委託	402			
	北海道新幹線に係る工事の委託	398			
	北海道新幹線に係る工事の委託	179			
	北海道新幹線に係る工事の委託	171			
	北海道新幹線に係る工事の委託	129			
	その他(北海道新幹線に係る工事の委託)	118			
計		4,676	計		0
D.代表例(個人等)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	用地補償	182			
計		182	計		0

支出先上位10者リスト

A.(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	・整備新幹線等の建設、保有・貸付け	67,359	-	-

B.民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電設工業(株)	北海道新幹線、北陸新幹線に係る工事の実施(25件)	1,523	-	-
2	鹿島・鉄建・梅林・田中組JV	北海道新幹線に係る工事の実施	1,335	1	99.4%
3	飛島・鉄建・飛島・豊蔵JV	北陸新幹線に係る工事の実施	1,096	1	98.5%
4	(株)日立製作所	北海道新幹線、北陸新幹線に係る工事の実施(6件)	1,046	-	-
5	三菱電機(株)	北海道新幹線、北陸新幹線に係る工事の実施(8件)	895	-	-
6	東邦電気工業(株)	北海道新幹線、北陸新幹線に係る工事の実施(18件)	849	-	-
7	東亜・株木・堀松・吉本JV	北海道新幹線に係る工事の実施	846	21	86.4%
8	鹿島・佐藤・大鉄・日本海建興JV	北陸新幹線に係る工事の実施	819	2	86.7%
9	日本リーテック(株)	北海道新幹線、北陸新幹線に係る工事の実施(14件)	767	-	-
10	西日本電気システム(株)	北陸新幹線に係る工事の実施(15件)	742	-	-

C.民間企業等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道旅客鉄道(株)	北海道新幹線に係る工事の委託(10件)	4,676	委託契約	-
2	東日本旅客鉄道(株)	北海道新幹線、東北新幹線、北陸新幹線に係る工事の委託(13件)	3,075	委託契約	-
3	西日本旅客鉄道(株)	北陸新幹線、九州新幹線に係る工事の委託(16件)	1,616	委託契約	-
4	九州旅客鉄道(株)	九州新幹線に係る工事の委託(3件)	800	委託契約	-
5	白山市	北陸新幹線に係る工事の委託(2件)	257	委託契約	-
6	九州電力(株)	九州新幹線に係る工事の委託(6件)	114	委託契約	-
7	高岡市土地改良区	北陸新幹線に係る工事の委託(1件)	112	委託契約	-
8	射水平野土地改良区	北陸新幹線に係る工事の委託(1件)	93	委託契約	-
9	七飯町	北海道新幹線に係る工事の委託(3件)	78	委託契約	-
10	石川県	北陸新幹線に係る工事の委託(2件)	75	委託契約	-

D.個人等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	武雄市	九州新幹線に係る補償	182	特命随意契約	-
2	個人	九州新幹線に係る補償	108	特命随意契約	-
3	個人	九州新幹線に係る補償	23	特命随意契約	-
4	個人	九州新幹線に係る補償	19	特命随意契約	-
5	個人	九州新幹線に係る補償	18	特命随意契約	-
6	個人	九州新幹線に係る補償	18	特命随意契約	-
7	個人	九州新幹線に係る補償	16	特命随意契約	-
8	個人	九州新幹線に係る補償	14	特命随意契約	-
9	個人	九州新幹線に係る補償	14	特命随意契約	-
10	個人	九州新幹線に係る補償	7	特命随意契約	-